



市民の活動が  
めぶく!

# 馬場川通りが リニューアル

市街地整備課 ☎027-898-6946  
前橋デザインコミッション ☎027-289-3773



伊藤 浩士さん

「会社では部下を持ち、会議の進行などをする人も多く、背景や考えが異なる人たちとの合意形成は楽しさだといえます。」

## Interview 02 伊藤浩士さん まちが自分の居場所に

「Poppin Rose Market」の列に並ぶ人に、この企画の趣旨を説明する伊藤浩士さん。プロジェクト初期からのメンバーです。普段は高崎市内で営業の仕事をしている会社員。活動の原動力は楽しさだといえます。

「高校の課題研究で、自分の好きなこと、まちづくりをどうつなげていくかという研究をしていたため、担任の先生からチラシを渡され、ワークショップの参加を



「Instagram上で募集するフォトコンテストを企画し、自らチラシをデザイン。投稿イメージのパネルを設置し、投稿を呼び掛けました。」

## Interview 03 志賀円さん 迷ったら一歩踏み出して

成に関わっています。仕事で身につけたことを、まちに還元していきます。まちに出てきたことで、自分の役割が増え、居場所も増えました。衝突もありますが、いろいろな人たちとつながり、やりとりをすることが楽しいです。行政や大企業が主体ではなく、自分たちの手で新しいものを生み出していく。そんなことができるまちは貴重だと思えます。」

### 01 まちなかのイベントに出かける

まちなかのイベント情報は「figoo」が便利。イベントの登録もできます。



### 02 馬場川通りのイベントに実行委員として参加する

毎月の小さな企画や今回のような大イベントを10月に開催予定。実行委員として参加しませんか。



### 03 まちなかの公共空間を使う

まちなかで楽しむ方法をまとめた冊子「まえばしアーバンデザインのまちの遊び方」を発行しました。本市ホームページからダウンロードもできます。  
配布場所＝市役所市街地整備課、前橋プラザ元気21内にぎわい商業課、JR前橋駅、MDC(本町二丁目)など  
市街地整備課 ☎027-898-6946



志賀 円さん

「勧められました。年齢の離れた人も多く、最初は緊張していましたが、前橋が好きという共通項で盛り上がりました。先生から勧められた時、参加しないという選択肢もありましたが、一歩踏み出して挑戦したことで、今とても楽しい経験ができています。」



かつては紺屋町という町名だった馬場川。通りは時代と共に変化し、今まさに転換期を迎えています。規格外の前橋産バラを売る販売会やボードゲーム大会などは、社会実験を経て既に定番化。駐車場だった場所は紺屋町広場として、市民の憩いの場に生まれ変わりました。前橋のまちなかには、あなたの「やってみよう」を受け入れる素地と空間があります。」

## 民間団体が公共空間を整備

「市民連携で遊歩道公園と市道を整備する「馬場川通りアーバンプロジェクト」の工事が完了し、馬場川通りが生まれ変わりました。遊歩道と市道の段差がなくなり、フラットで広がりのある空間に。川沿いには木製のベンチやテーブルが設けられ、水辺や緑のやすらぎが感じられます。4月13日・14日に、お披露目イベント「まちびらき」を開催。多くの人が新しくなった通りを思い思いに楽しみました。」



MDC ホームページ

## Interview 01 黒澤千絵さん 通りで営む人として

「馬場川通りに面するワイヤーアートのアトリエ兼ショップ・kigiの黒澤千絵さん。プロジェクト開始当初からMDCが実施するセミナーやワークショップに参加し、昨年10月からは、規格外の前橋産バラを普段使いしやすい価格で販売する「Poppin Rose Market」の運営に当たっています。」



黒澤 千絵さん